

お部屋の中にひとつ植物があると、それだけで生活に潤いが生まれますね。今回は、水やりや日差しの管理などに手間のかからない、簡単に育てられる2つの植物をご紹介します。



●ユニークで可愛いエアープランツ

園芸店やホームセンターの園芸コーナーに行った際に、鉢など植えられることなく、コロンと転がっている一風変わった植物の姿をみたことはありませんか？

あれがエアープランツです。

砂漠などの乾燥地帯や森林に生育する植物で、根は樹木や岩に着生するためにあるだけで、そこから水を吸うことはありません。

もちろん、植物なので、まったく水分を与えなければ枯れてしまいますが、水やりは3日に一度(梅雨時期は4日に一度)くらい、夜に霧吹きで葉に水を与えるだけでOK。

1ヶ月に一度くらい、夜間に4～6時間ほど丸ごと水に漬けてあげれば、よりベストです。

室内の日当たりや風通しの良い場所を好みますが、冬でも最低温度0度以上あれば枯れることはありません。

そしてエアープランツならではの楽しみ方は、なんとといってもそのユニークな姿を生かした飾り方。



お気に入りの大皿に2～3個無造作に置いても可愛いですし、ガラス容器にカラーサンドや園芸用ゼリーを入れて植えるのも色が映えてキレイです。流木などに挿すだけでもお洒落なインテリアになります。

柔らかいアルミワイヤーをカゴ型に組み壁に吊るしたり、板などに接着剤で貼り付けても大丈夫なので、自由にアレンジして楽しんでみましょう。

お部屋の素敵なアクセントになります。



●水だけで育つ球根の水栽培

もうひとつ、成育中から開花まで室内で楽しめる方法が球根を使った水栽培です。球根の中にはもともと多くの養分が蓄えられているので、肥料をやったり土に植えなくても水だけで育てられる種類が多くあります。

ヒヤシンスやクロッカスはポピュラーなものですが、スイセンやムスカリなども水栽培に適しています。

容器は水栽培用のものが市販されていますが、球根の固定ができるものなら食器や空きビンなどでも大丈夫です。身近なもので工夫してみるのも面白いですね。

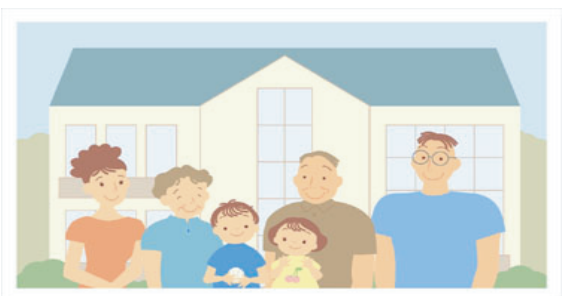
水栽培は夜の気温が下がる10～11月頃から始めます。

最初は球根の下部が少し水に浸かる程度にし、暗いところに置き根をしっかりと伸ばしましょう。最終的には3分の2くらいの水位にします。

水は腐らないように、時々取り替えてあげましょう。

芽が出始めたら、明るい場所に移しますが、暖房の効きすぎには要注意。

ある程度寒い所で育てる方がしっかりと花が咲きます。



TOYAスマイル倶楽部事務局
今治市玉川町中村甲677-7
有限会社十弥工務店内
TEL (0898)36-8182
FAX (0898)36-8183
E-mail : toya-info@toya.co.jp